

益田のお産 『今』と『これから』



2025年7月25日（金）

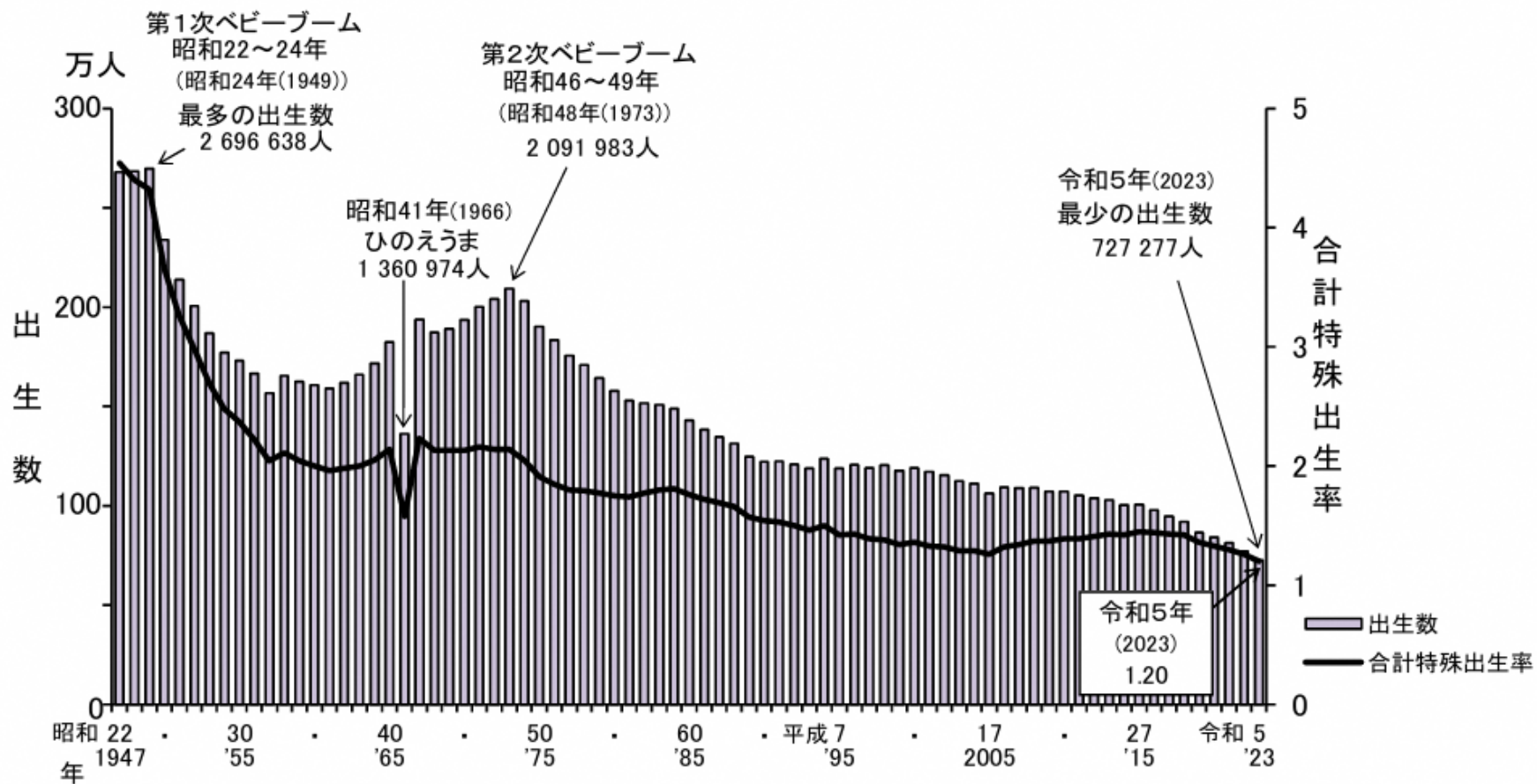
益田赤十字病院

助産師 新田昌子

日本の出生数及び合計特殊出生率の年次推移

(厚生労働省資料参照)

図1 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

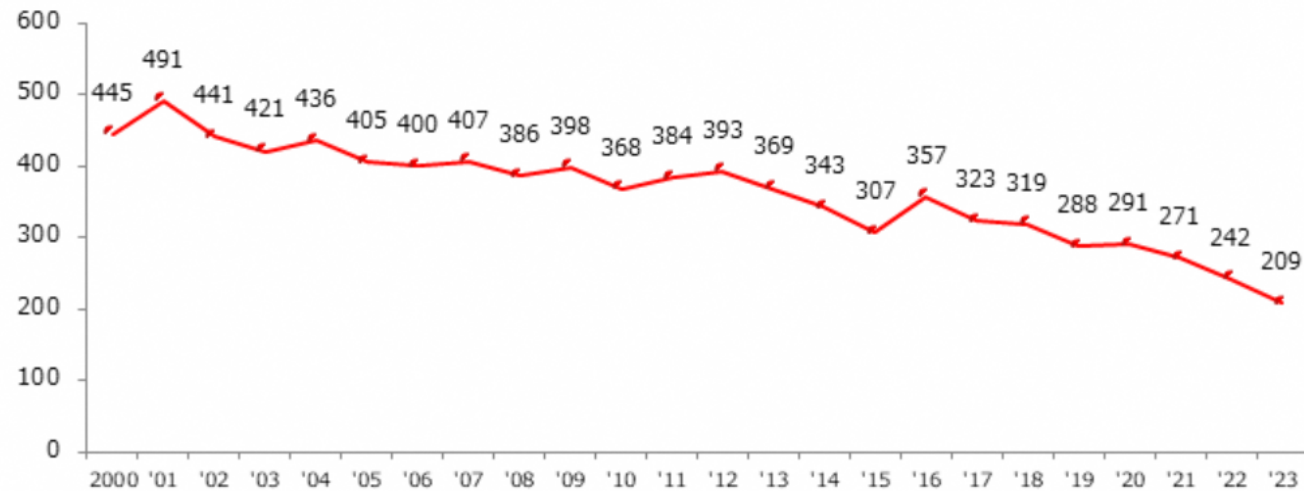


益田市の出生数の推移 (住民基本台帳ベース、日本人住民)

益田市の出生数の推移

(住民基本台帳ベース、日本人住民)

(人)



※1月1日から12月31日までの外国人を除く日本人住民の出生数。

※市区町村の場合は2024年1月1日時点の市区町村境界。

© jp.gdfreak.com

益田のお産 『今』

- マンパワー不足
- 労働条件の悪化
- 周産期医療体制の欠陥



省に申請した石見智翠
館高校―江津市渡津町

校は不登校児童生徒の実態―あったという。

(村山栄大)

産婦人科医1人常勤助産師2人

19年前に医師不在でお産の危機に見舞われた島根県隠岐の島町で、再び周産期医療体制が厳しさを増している。中核病院の隠岐病院では、2年前から産婦人科医が1人体制であるのに加え、4月からは4人だった常勤助産師が半数の2人に減った。お産は可能だが担当者は過密な勤務を強いられている。

(鎌田剛)



産婦人科医1人体制で診察を続ける加藤一朗副院長
―島根県隠岐の島町城北町、隠岐病院

隠岐でのお産 体制厳しく

過密な勤務強いられる

同病院では2023年度、検診を受けた妊婦78人のうち42人が出産。14人はハイリスクのため本土の医療機関を紹介し、20人が希望して本土で出産、2人が本土に緊急搬送された。

病院の規模から理想的な体制は産婦人科医2人、助産師10人、小児科医1人と麻酔科医1人でチームをつくることだが、確保はままならず、お産の際は医師1人と助産師2人が対応。3月までは助産師4人が勤務シフトを回していた。

ところが、定年退職と産休

で今年4月に常勤助産師は2人となった。夜間や休日の分娩当番は助産師2人の待機が必要で、常勤だけでは破綻するため、いったんは退職したパート助産師1人と島根県立中央病院からの派遣

1人、助産師資格を持つ病棟1人の応援でシフトを回している。

同病院は産婦人科医の不在で06年に4カ月ほど出産ができなくなった。その後医師の派遣などでお産の体制を維持していたが縮小を余儀なくさ

産婦人科医の加藤一朗副院長(52)は「お産を続けていきたい。住民には現状を理解してほしい」と話し、医師や助産師確保の機運を高めたいとする。5日には町内で島後のお産を考える住民向けのシンポジウムを開く。

益田のお産 『今』

- 高齢化と合併症を持つ妊婦の増加
- 低出生体重児の増加
- 不妊治療の高度化
- 周産期死亡率の低下



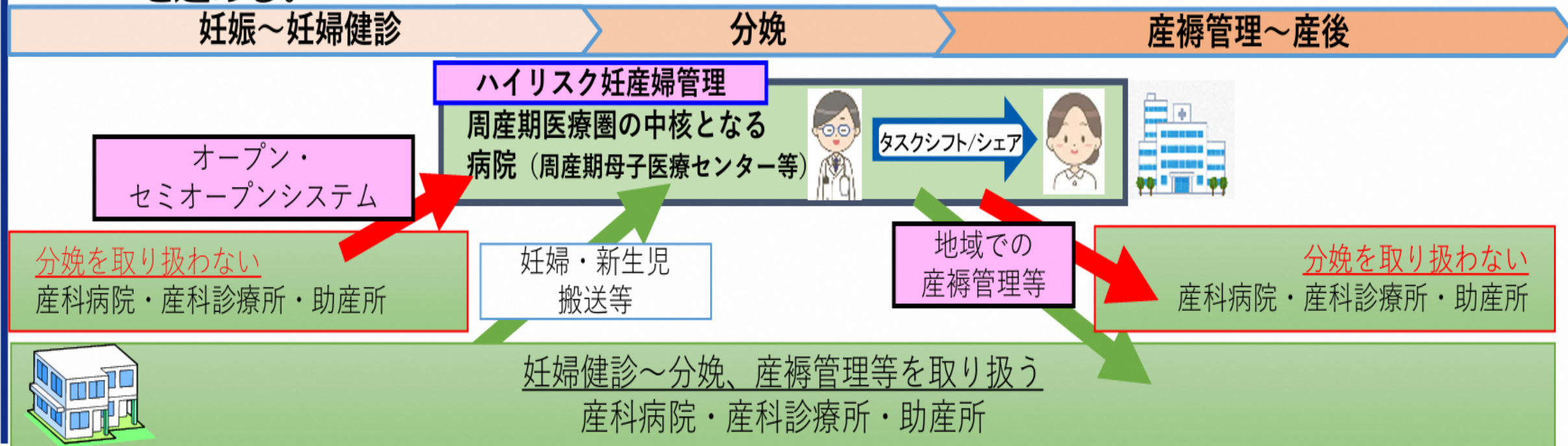
益田のお産 『これから』

- 産婦人科医師の確保
- 労働条件の改善 → 助産師の確保
- 医療連携体制の整備



周産期医療の集約化・重点化

- 基幹施設を中心とした医療機関・機能の集約化・重点化を進める。ハイリスクでない分娩は、その他の産科医療機関で取り扱うことや、分娩を取り扱わない医療機関において妊婦健診や産前・産後のケアや、オープンシステム・セミオープンシステム等を実施することを検討するとともに、産科医師から助産師へのタスクシフト／シェア等を進める。



益田のお産 『これから』

- 合併症を持つ妊娠・出産への対応
- 低出生体重児の管理
- 不妊治療の倫理的課題
- 情報提供の促進



社会的に問題を抱える妊産婦さん

- **経済的**

不安定な就労、収入の低さ、医療費の未払い

- **家庭的**

家族構成が複雑、未婚、離婚、DVの経験

- **心理社会的**

精神疾患、発達障害、被虐歴、子育て支援の不足

- **その他のリスク**

住所不定、貧困、飛び込み出産、未受診、望まない妊娠など



妊娠から子育てまで 切れ目ない支援を！

- 妊娠期からの育児期まで
- たくさんの職種や機関とのつながり
- 個々の希望に応じた支援
- 早期発見・早期介入



助産師ってどんな仕事？



[Bing 動画](#)

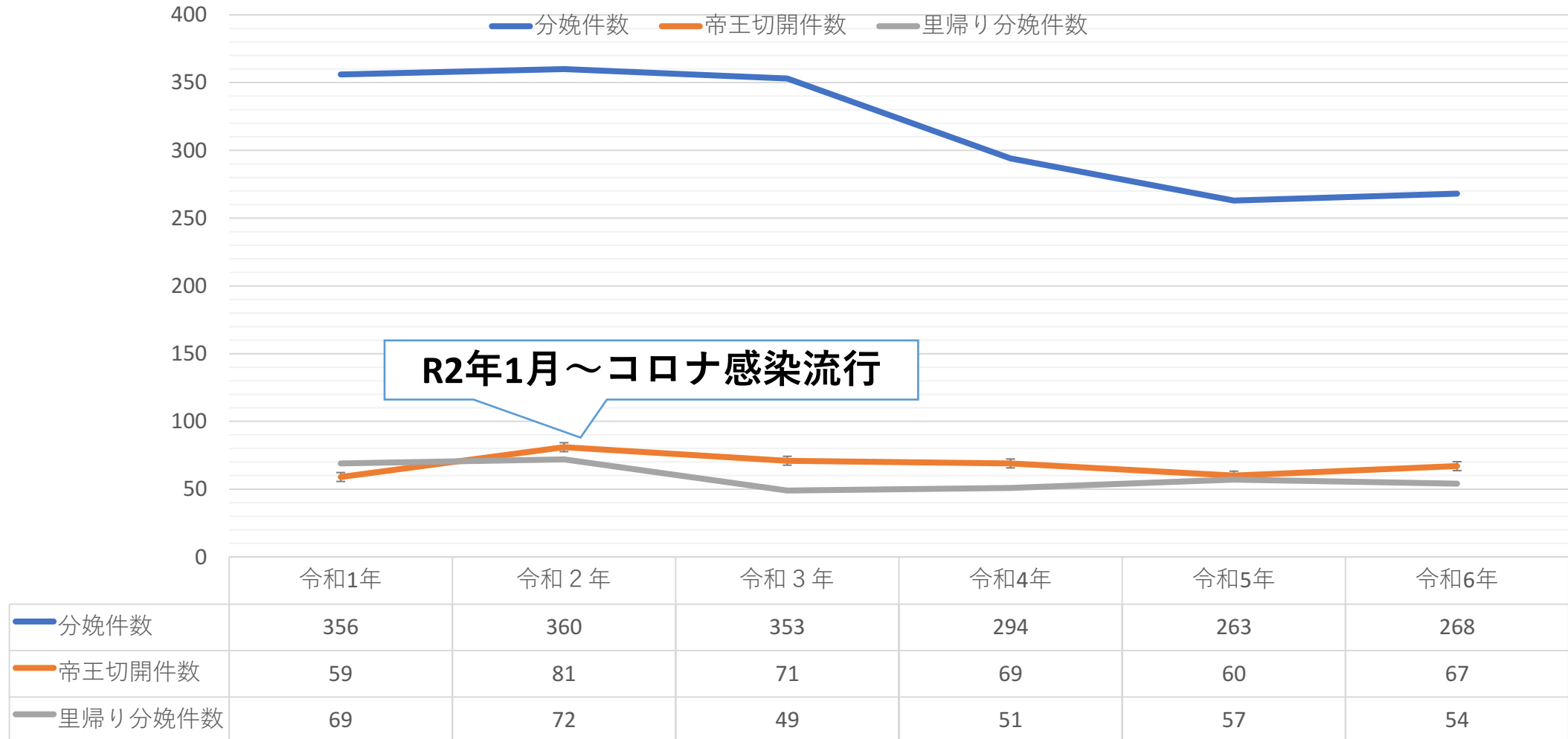
益田赤十字病院の概要

- 病床数280床 + HCU4床
(結核病床4床、感染症病床4床、NICU11床)
- 23の診療科
- 平均在院日数 12.9日
- 病床利用率 84.3
- 平均患者数 241人/日
- 救急患者 5259人/年
- 分娩数 268件/年
(うち帝王切開 67件、帝王切開率 25%)
- 地域周産期母子医療センター 妊娠30週以降の分娩受け入れ



※2024年度実績

益田赤十字病院における分娩件数及び内訳



益田赤十字病院における受け入れ体制

- 産婦人科病棟 ベッド数 45床（うちNICU11床）
産科、婦人科、眼科、内科、整形外科などを含む女性病棟
- 医師 産婦人科医師 3名
小児科医師 3名
- 助産師数 17名
- 看護師数 13名



「益田のお産を守りたい！」 助産師も頑張っています



院内助産 ハッピー♡バース

助産師が中心となり、正常な経過をたどる妊婦さんの
妊娠期から産後までをサポートします！

母親やご家族の希望に寄り添いながら、
医療介入を最小限にした自然な分娩を
目指します。

緊急時は、すぐに医師が対応できる
体制を整えています。



マタニティクラス・乳房外来・産後健診



プレコンセプションケアとは？

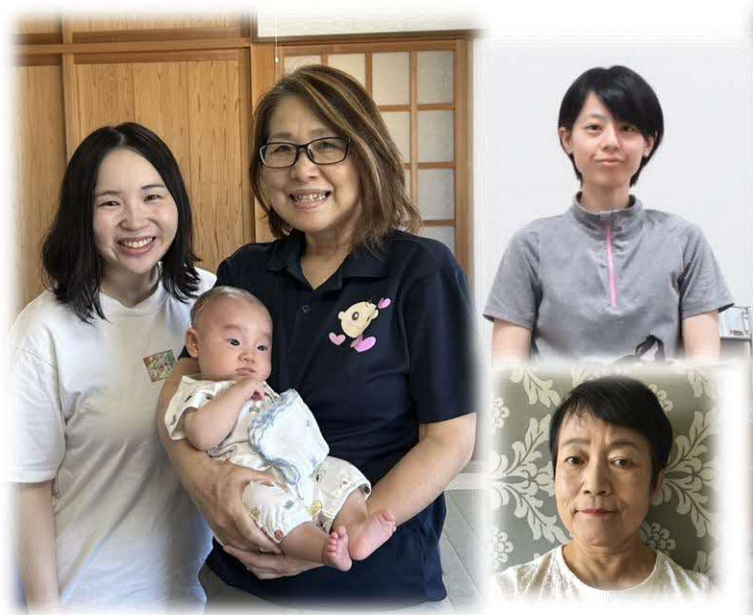
若いうちから男女ともに将来の妊娠等も意識して、
自分の心身の健康管理を行うこと



子供の時から命や自分の体について
みんなで考えよう！



地域でも『助産師』活躍しています！





妊娠期から出産・子育てまで切れ目ない支援を
『益田のお産を守りたい！』

